

生体牛	日本	米国	米国と日本の比較	カナダ	カナダと日本との比較
・生体牛の輸入	UKから乳牛33頭	UKから313～318頭		UKから198～231頭	
・肉骨粉の輸入	UKから9,000t その他イタリアなどから 55,000t	UKから5～63t その他の国からEU123～ 1,024t		UKから0t、米国中心	
動物性油脂	オランダから	0		0	
・肉骨粉の飼料への混入	牛からのものはすべて廃棄	交差汚染の可能性		交差汚染の可能性	
・飼料規制	2001年10月	1997年8月		1997年8月	
遵守度	上記以降100%	99%		90%	
・と畜月齢	全年齢	20ヵ月齢以下		20ヵ月齢以下	
SRMの排除	SRM99.4%除去 肉骨粉は焼却	SRM99.4% 現在も肉骨粉として使用		SRM99.4% 現在も肉骨粉として使用	
ラインの分離状況	2005年4月以降完全分離	検討中		検討中	
・サーベイランスの結果	摘発率 0.002819416%	摘発率 0.000515054%		摘発率 0.00378666%	

食肉	日本	米国	米国と日本の比較	カナダ	カナダと日本の比較
・と畜検査でのBSE検査	全頭	検査せず		検査せず	
対象牛、対象月齢	21ヵ月齢以上	なし		なし	
・検査陽性牛の排除	実施	なし		なし	
・スタンニング	実施	日本と同様		日本と同様	
・ピッシング	80%に実施	実施せず		実施せず	
・SRM除去	実施	日本向けには実施		日本向けには実施	
手順、記録	SSOP	SSOP、HACCP		SSOP、HACCP	
脊髄除去 枝肉洗浄後の確認	実施	日本向けには実施		日本向けには実施	

評価対象牛の生年月日

全年齢

2003年12月以降生まれ

2003年12月以降生まれ

検証用データ

サーベイランスデータ (日本:と畜検査含む、病畜 米国・カナダ:リスク牛)	日本		米国		カナダ	
摘発率	$3/(98098+8307)*100$	0.002819416	$2/388309*100$	0.000515054	$2/52817*100$	0.00378666
全年齢	20		2		3	
20ヶ月齢以下(2003年12月以降生まれ)	0		0		0	
20ヶ月齢以上(2003年11月以前生まれ)	20		2(144ヶ月齢、不明を含む)		3	